

(教養試験 警察官B No.1)

日本におけるサイバー犯罪（インターネットやコンピュータを使用した犯罪）に関する次の記述ア～ウの正誤の組合せとして妥当なのはどれか。

- ア. 2015～2019年のサイバー犯罪の検挙件数は、企業や個人のサイバーセキュリティ対策が強化されてきたことも影響し、減少が続いた。
- イ. サイバー犯罪の手口の一つにフィッシングがある。フィッシングとは、金融機関や政府機関などを装って電子メールを送り、本物と思わせるようなWebサイトに誘導し、口座番号やパスワードを入力させて、情報をだまし取る行為のことをいう。
- ウ. インターネット上の投稿のうち、爆破などの犯行の予告の投稿や特定の個人を脅迫する投稿は、匿名で書き込まれたものであってもアクセスログを調べるなどして発信端末が特定され、投稿者が逮捕されることがある。

- | | ア | イ | ウ |
|----|---|---|---|
| 1. | 正 | 正 | 誤 |
| 2. | 正 | 誤 | 正 |
| 3. | 誤 | 正 | 正 |
| 4. | 誤 | 正 | 誤 |
| 5. | 誤 | 誤 | 誤 |

正答番号 3

(教養試験 警察官B No. 2)

1～6の目がある3個のサイコロを同時に振ったとき、出た目の数の合計が16になる確率はいくらか。

1. $\frac{1}{18}$

2. $\frac{1}{24}$

3. $\frac{1}{27}$

4. $\frac{1}{36}$

5. $\frac{1}{54}$

正答番号 4

(教養試験 警察官B No. 3)

次のア～ウは、それぞれ絶対王政期のイギリス、スペイン、フランスのいずれかの国に関する記述である。記述と国名を正しく組み合わせているのはどれか。

- ア. ハプスブルク家出身の国王が神聖ローマ皇帝も兼任し、広大な領土を支配した。その次の国王は絶対王政の最盛期を築き、レパントの海戦でオスマン帝国の海軍を破り、ポルトガルを併合して、「太陽の沈まぬ国」を実現した。
- イ. バラ戦争の結果、封建貴族が没落して王権が強化され、国教会を創設した国王の下で絶対王政が確立した。その後、無敵艦隊を撃破して国際的地位を高め、また毛織物工業の発展を背景に、積極的に海外進出を図った。
- ウ. ナントの王令（勅令）により新教徒に信仰の自由を認めて国内をまとめた後、中央集権化を進め、官僚機構も整備した。その後、王権神授説を採る「太陽王」と呼ばれた国王の下で、絶対王政の最盛期を迎えた。

- | ア | イ | ウ |
|---------|------|------|
| 1. イギリス | スペイン | フランス |
| 2. スペイン | イギリス | フランス |
| 3. スペイン | フランス | イギリス |
| 4. フランス | イギリス | スペイン |
| 5. フランス | スペイン | イギリス |

正答番号 2